

英国に在住するアジア系移民コミュニティに
おける教育背景と課題：
トルコ系クルド系移民児童の教育の事例

地域文化研究科

博士後期課程

中島 久朱

研究の目的

- グローバル化と公教育の問題
- 社会の分離と統合の問題（英国の例）
「コミュニティの結束」
- エスニック・マイノリティ教育
- トルコ系クルド人コミュニティの事例

研究の方法

1. 授業参与観察
公立小学校およびクルド人補習校での授業観察
2. 半構造的インタビュー
対象者： 小学校教員 3名
トルコ系クルド人移民保護者 7名
トルコ系クルド人児童（4年生～6年生）16名
クルド人補習校教員 3名
子ども・家庭・学校省職員 2名
3. 大学院セミナー等への参加
4. 文献調査

小学校における調査 概要

所在地： ロンドン・ハリンゲイ地区

期間： 2008年10月～2009年2月

調査内容：

1. EAL児童（高学年）対象のリテラシーのクラスでの参与観察
2. 教員に対するインタビュー
3. 児童へのインタビュー（4～6年生）
4. 保護者へのインタビュー

小学校での調査 項目

- トルコ系クルド人児童の学習問題について
アイデンティティ
学習意欲、学校への期待・要望
- 保護者の期待・要望
子どもへの期待
学校への希望
- 教員の見解
- 教員と保護者の間の認識の差

民族コミュニティでの調査 概要

所在地：ロンドン・ハリンゲイ地区

期間：2008年12月～2009年2月

調査内容：

1. 補習校での参与観察（KS4～5、KS3）
2. 教員へのインタビュー

民族コミュニティでの調査 項目

- 補習校での授業の様子
子どもの学習意欲、教員と子どもの関係
- 地域コミュニティとの協力
コミュニティの教育への関与
- 教員のバックグラウンド
アイデンティティ、教育背景
- 子どもの教育問題に対する教員の見解
英国社会への期待・要望

政府関係者のインタビュー 概要

場所：子ども・学校・家庭省
(Department for Children, Schools and Families : DCSF)

日時：2009年2月13日 10:00~11:30

対象者：

- エスニック・マイノリティ教育政策アドバイザー
- コミュニティの結束政策アドバイザー

政府関係者のインタビュー 項目

- エスニック・マイノリティ教育政策
- 「コミュニティの結束」と教育政策
- 多文化主義から社会統合への転換
「Narrowing Gap」

SOASでの講義の聴講・セミナー参加

- エスニック・マイノリティ関連法 講義
(ETHNIC MINORITIES AND THE LAW LECTURE)
- 博士課程セミナー
- イギリスにおける宗教 講義
(RELIGION IN BRITAIN: FAITH COMMUNITIES AND
CIVIL SOCIETY LECTURE)
- ロンドン大学教育学大学院でのセミナー参加

文献・資料収集

- エスニック・マイノリティ教育関連文献
- 教育政策関連文献
- 社会統合政策関連文献
- 社会科学理論関連文献
- 英国の社会統合問題関連文献
- 政府発行資料
- 調査校関連資料

ITP派遣を受けて

研究の成果

- クルド系移民の教育問題
- 社会統合とエスニック・マイノリティ教育
- 一次資料の収集

その他の成果

- 当該分野における貢献
- ネットワーク構築
- 異文化適応能力

ありがとうございました

中島 久朱

nakajima.kusu.djf@tufs.ac.jp